

平成 22 年度

事業報告書



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

目 次

公社経営方針	1
定款事業別体系図	2
事業区分別事業報告	4
公社概要	23
組織図	23

公社経営方針

平成20年12月に公益法人制度改革関連三法が施行され、当公社は公益財団法人への移行認定を目指して準備を進め、平成21年9月29日付で都知事の認定を受け、平成21年10月1日付で「公益財団法人 足立区生涯学習振興公社」として設立登記を行った。

新法人は、幼児から高齢者まで広くあだち区民の文化及びスポーツ並びに学習の体験や機会を提供するとともに、人材育成や自主活動を支援する事業を行い、生涯学習のネットワーク化を図ることにより生涯学習を推進し、いきいきとした地域社会の創造に寄与することを目的と定めている。

平成22年度の事業計画及び予算編成に当たっては、公益財団法人への移行認定を踏まえて、地域での文化・スポーツ・学習活動を結び合わせて相乗効果を生み出す「地域ネットワーク」形成を重視し、公社のもつ経営資源を最大限活用することにより、生き生きとした地域社会を築くことをめざした事業を構築する。

事業の実施、予算執行に際しては、より一層の効率的な運営を図り、より広く区民へのサービスの向上に努める。

重点事項

① あだち放課後子ども教室の開設及び運営支援に重点的に取り組む

区と連携し、区立小学校を拠点としたあだち放課後子ども教室の開設・運営支援を引き続き公社の主要事業として位置づける。

全小学校72校中、平成21年度末67校、平成22年度5校の開設を予定しているが、平成22年度は学校、地域、関係者の更なる理解と協力を得ながら、実施日数・実施会場の拡大等、事業の充実を図っていく。

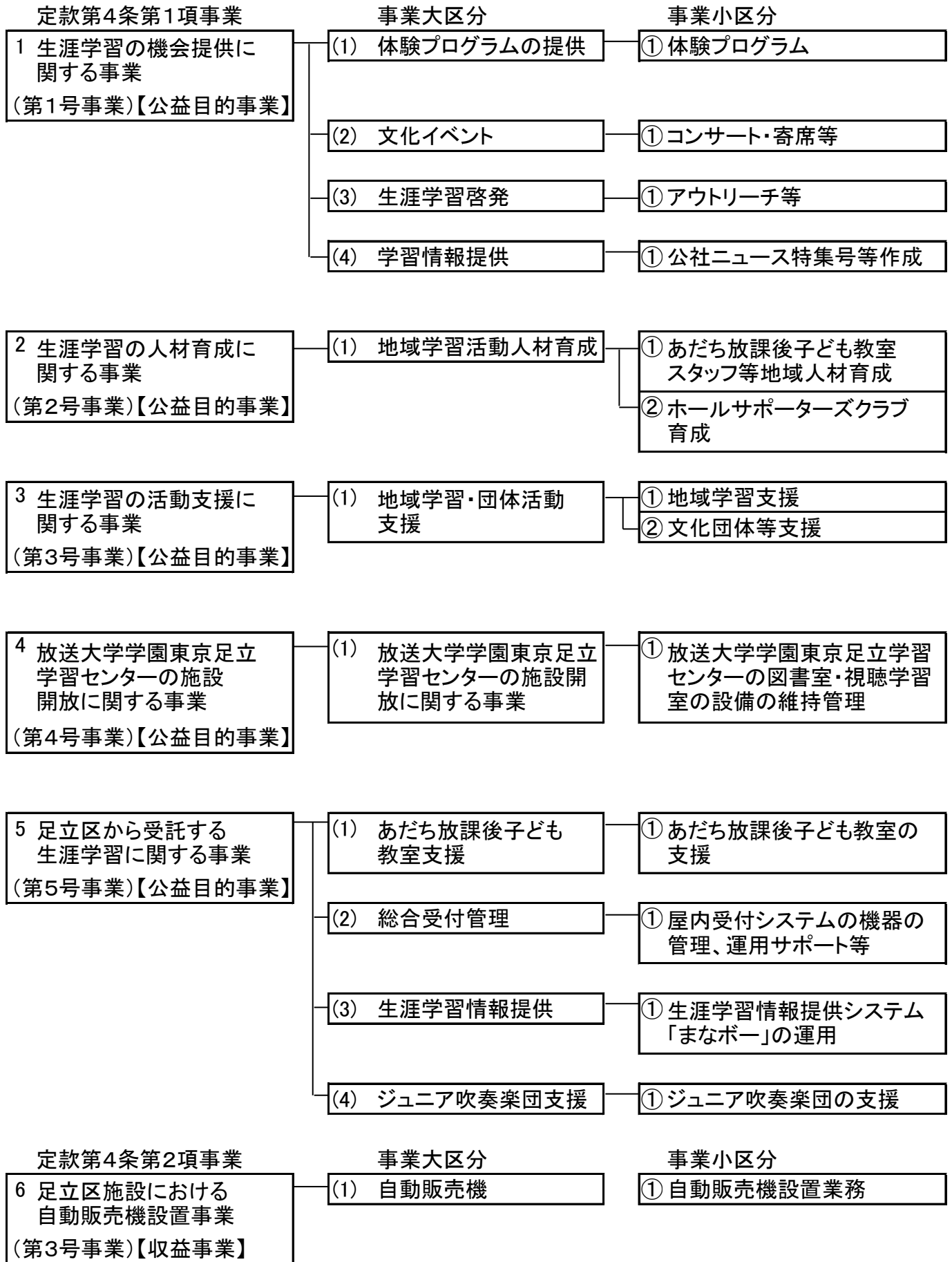
② 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供する

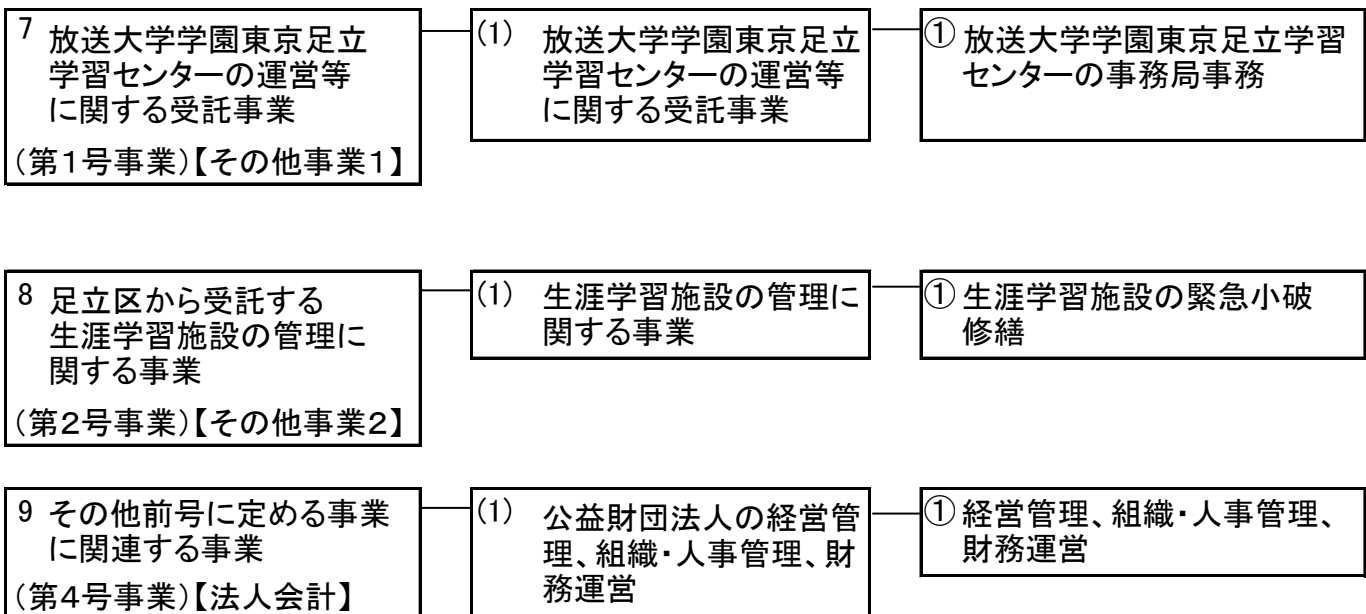
公社の自主財源を投入し、あだち放課後子ども教室体験プログラムなど生涯学習の学習機会を提供していく。また、区民一人一人が文化芸術に楽しみ、関心を持つ区民を増やし、文化芸術の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。更に、地域の団体やグループ等の事業をコーディネートすることを通じ、地域活動の支援と連携、人材育成等に寄与する。

③ 公益財団法人として、法令等に基づく的確な法人運営を行う

今回の公益法人制度改革に伴い、法令等により明確に定められた公益認定基準やガバナンス（内部統治）等に適合した法人運営を行う。

平成22年度 定款事業別体系図





事業区分別事業報告

1 生涯学習の機会提供に関する事業 (定款第4条第1項第1号事業) 【公益目的事業】

(1) 体験プログラムの提供		予算現額	
		2,454 千円	
目的	<p>子どもの安全・安心に集える居場所として、放課後の小学校施設を活用し、学習・スポーツ等の体験活動の場を提供する。体験活動を通じて、様々な分野への興味を深めるとともに、運動能力や体力を高めたり、新たな遊びの発想に活かすなど、子どもたちが、自ら学ぶ力を身につけさせていく。</p>		
22年度の予定			
内 容		実施時期	実施回数
読み語りキャラバン コーディネーショントレーニング レク&遊び体験 等		通年	35 回
22年度(H22.4.1~H23.3.31)実施内容			執行額
			654 千円
実施概要	<p>子どもたちの活動機会提供として、足立区公認スポーツ指導員等の協力を得て放課後子ども教室の遊具を使い、既存の単一種目（サッカーやバスケットボールなど）だけにとどまらず、遊び方に工夫を加え、その後の遊びのヒントにつなげていった。</p>		
実 施 内 容		延参加者数	実施回数
放課後子ども教室 レク&遊び体験 【9/6, 9/13, 9/15, 9/22, 9/27, 9/29, 10/4, 10/6, 10/13, 10/18, 10/20, 10/25, 10/27, 11/8, 11/10, 11/17, 11/22, 11/24, 11/30, 12/1, 12/6, 12/8, 12/10, 12/13, 12/16, 12/20, 12/21, 12/22, 1/19, 1/21, 1/26, 2/2, 2/9, 2/10, 2/16, 2/23, 】		1,290 人	40 回
落語【10/15】		317 人	1 回
工作（東急ハンズ連携）【1/24】		27 人	1 回
小計		1,634 人	42 回
			区内各小学校
			寺地小学校
			千寿桜小学校

(2) 文化イベント		予算現額	
		41,358 千円	
目的	文化芸術の潤いのある心豊かな区民生活の実現を図るため、広範なジャンルにわたる芸術性の高い優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供し、芸術と地域社会の出会いを創出する。また、廉価で安定的に提供するとともに、各種助成制度等を利用し、芸術性と収益性の両立を図る。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
コンサート(クラシック、ポップス、タンゴ、ビッグバンド、邦楽、オーケストラ他) 寄席(春風亭小朝、柳家小三治、立川談春、立川志の輔他) 子ども劇(平常、劇団東少、劇団銀河鉄道他) 演劇(月猫えほん音楽会) その他(米村でんじろう他)	通年	28回	西新井文化ホール
22年度(H22.4.1~H23.3.31)実施内容			執行額
			38,658 千円
実施概要	クラシック、落語、ロック、邦楽、ジャズ等広範なジャンルから、優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供し、芸術と地域社会の出会いを創出した。高嶋ちさ子コンサート、米村でんじろう等8演目10公演が完売し、区民の幅広いジャンルに渡るウォンツに応えるとともに、芸術性と収益性の両立も併せて実現した。また、夏休みの時期にあわせ、子ども向けの公演を充実させた。フレッシュ名曲コンサート《完売》では、足立区在住の新進演奏家を起用し、共催の東京都歴史文化財団より230万円の助成を受けた。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
コンサート 相川七瀬コンサート【4/16】、熱帯JAZZ楽団【4/21】、 仲道郁代ピアノリサイタル【5/14】、コロッセオコンサート(2回公演)【6/12】、 高嶋ちさ子コンサート【6/20】《完売》、タンゴ・ロマンス【6/26】、 プリランテ夏のコンサート【7/4】、寺内タケシとブルー・ジーンズ【7/11】、 レニングラード国立舞台サーカス(2回公演)【7/27】、 米村でんじろうサイエンスショー(2回公演)【8/4】《2回公演とも完売》 横山幸雄のベートーヴェン物語【9/10】、 邦楽ユニット“つるとかめ”澤田勝秋&木津茂理【9/18】、 美川憲一コンサート(2回公演)【10/3】、情熱のフラメンコ!!【10/9】、 天満敦子ヴァイオリンリサイタル【10/29】、ミシユクショパンの秋【11/16】 フレッシュ名曲コンサート「青島広志の秋のおしゃべり音楽会」 【11/23】《完売》、清水ミチコトーク&ライブ【11/28】《完売》 JAZZJAZZJAZZin西新井 前田憲男JAZZものしり雑学百科 【12/5】、プリランテ 極上のクリスマス【12/10】	15,155 人	24 回	西新井文化ホール
こども劇 シンデレラ(2回公演)【5/23】、お花のハナツクの物語【7/30】 月猫えほん音楽会【9/25】、プレーメンのおんがくたい(2回公演) 【12/19】《2回公演とも完売》	3,567 人	6 回	西新井文化ホール
寄席 春風亭小朝独演会(2回公演)【4/18】、立川談春独演会【7/23】 柳家喬太郎独演会【8/27】、林家たけ平独演会【8/29】 柳家小三治独演会【11/10】《完売》 新春寄席 桂歌丸・春風亭昇太二人会【1/10】《完売》 立川志の輔独演会【2/13】《完売》	6,305 人	8 回	西新井文化ホール
小計	25,027 人	38 回	

(3) 生涯学習啓発		予算現額	
		4,188 千円	
目的	芸術普及活動(アウトリーチ活動)を展開し、これまで文化芸術に触れる機会が少なかった区民に対して、様々な働きかけを行い、音楽や芸術や文化施設への興味を喚起する。文化芸術の無関心層を関心層・支持層へと移行させていくことにより、文化の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
エントランスコンサート	通年	5回	西新井文化ホール 他
バックステージツアー	通年	5回	
アウトリーチコンサート	通年	2回	
サテライトコンサート	通年	2回	
スチューデントプロデュースコンサート	3月	1回	
スチューデントプロデュースコンサートミーティング	通年	50回	
エントランスアニバーサリーコンサート	6月	1回	
22年度(H22.4.1~H23.3.31)実施内容			執行額
			2,680 千円
実施概要	<p>通算54回を数えたエントランスコンサートは、平日午後の開催にも関わらず毎回200人前後の来場者があり、地域の文化芸術事業として確実に定着した。同時に行っているバックステージツアーは、参加者から好評であり、ホール未体験層への啓発事業として効果を挙げている。50回を記念したエントランスアニバーサリーコンサートは、歴代出演者9組による有料コンサートで400人以上の来場者があった。最終回の終演後にはお客様から終了を惜しむ声を多くいただいた。</p> <p>スチューデントプロデュースコンサートは、今回も東京藝大との連携や地方公務員向けの研修雑誌にも取り上げられるなど、外部からの関心及び評価が高く、参加学生の士気も高かったが、震災の影響で開催を中止した。今後延期公演に向けて調整していく。また、昨年作成したSPCオリジナルソング「このまち」のCD製作を行い、区内学校、商店街、音楽団体などに配布し、足立区に広く親しまれるように周知を図った。</p> <p>光の祭典での夜間開館の生物園で行なったサテライトコンサートは非常に多くのお客様が鑑賞し、事業のコラボレーションにより相乗効果をあげることができた。また、教育委員会文化課からの依頼により、郷土博物館の桜祭りのイベントをサテライトコンサートの予算を充当して計画を進めていたが、震災の影響で中止となった。</p> <p>島根小学校及び本木小学校の1年生を対象に実施したアウトリーチコンサートは、いずれも学校から好評であり、高い事業効果を得られた。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
エントランスコンサート【4/13, 8/31, 9/22, 10/6, 2/28】	765 人	5 回	西新井文化ホール
バックステージツアー【4/13, 8/31, 9/22, 10/6, 2/28】	147 人	5 回	西新井文化ホール
エントランス50thアニバーサリーコンサート【6/13】	441 人	1 回	西新井文化ホール
アウトリーチコンサート【10/27, 2/23】	151 人	4 回	島根小学校、本木小学校
サテライトコンサート【12/11】	500 人	1 回	生物園
サテライトコンサート(郷土博物館さくらまつり出演料)【3/27】	中止		郷土博物館
スチューデントプロデュースコンサートVol.5【3/21】	中止		西新井文化ホール
スチューデントプロデュースコンサートミーティング【毎水曜】	433 人	48 回	西新井文化ホール他
小計	2,437 人	64 回	

(4) 学習情報提供		予算現額	
		17,009 千円	
目的	毎月発行の公社ニュース「ときめき」にて、公社自主事業文化イベント等の生涯学習情報を発信して行く。さらに生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の講座情報を集約し情報を発信して行く。また公社ニュース特集号では、公社事業の取り組みやイベントなどの情報を、区民へ発信する。公社ホームページでは、公社の概要や事業案内などの情報を発信し、公社を広くPRする。		
22年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信	毎月1回	12回
	公社ニュース「ときめき」特集号の編集・発行 (公社事業特集)	不定期	3回
	公社ホームページによる情報提供	随時	
	区「あだち広報」への講座情報の編集	毎月1回	12回
	22年度(H22.4.1~H23.3.31)実施内容		執行額
			16,039 千円
実施概要	公社ニュース「ときめき」では、毎月、自主事業（文化事業・学習スポーツ事業・放送大学）の周知、募集記事を掲載（2頁/月）し、情報発信を行った。特集号では、10月号に『あだち放課後子ども教室』、1月号に『スチューデントプロデュースコンサート』、4月号に『学んで地域で活動中』を作成し、通常の「ときめき」に併せて区内配布を行い、事業への理解と協力が得られるよう広くPRした。公社ホームページは、公社の概要や事業の案内などの情報を発信し、公社を広くPRした。また、区「あだち広報」に掲載する各地域学習センター・スポーツ施設などの「講座・イベント情報」の募集記事作成・編集作業を行った。		
	実 施 内 容	実施時期	実施回数
	公社ニュース「ときめき」への自主事業情報発信	毎月1回	12回
	公社ニュース「ときめき」特集号の作成(公社事業特集)	10、1、4月号	3回
	公社ホームページによる情報提供	随時	
	区「あだち広報」への講座情報（地域学習センター等の講座）の編集	毎月1回	12回

2 生涯学習の人材育成に関する事業
 (定款第4条第1項第2号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習活動人材育成		予算現額	
		1,745 千円	
		執行額	
		981 千円	
①あだち放課後子ども教室スタッフ等地域人材育成			
目的	<p>「あだち放課後子ども教室事業」を円滑に運営するため、スタッフに危機管理や、より専門的な知識、技術のスキルアップを目的に研修の場を提供する。さらに事業の充実を図るため、「あだち放課後子ども教室サポーター」として地域の人材を発掘し、活動に必要な学習プログラムを学ぶ機会を提供し、事業をサポートする人材を育成する。</p>		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修 (危機管理等)	通年	8 回	地域学習センター、 各学校等
あだち放課後子ども教室全体講習会	7月	1 回	
指導者養成(コーディネーショントレーニング)	9月	1 回	
指導者スキルアップ(コーディネーショントレーニング他)	通年	20 回	
あだち放課後子ども教室サポーター養成講座	通年	3 回	

22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容

実施概要	<p><あだち放課後子ども教室スタッフ研修(遊びのヒント室内編・おりがみ)>安全管理スタッフや実行委員を対象に、子どもたちにおりがみを教える技術やボランティア意識の習得を目的とする研修を実施した。</p> <p><あだち放課後子ども教室スタッフ研修(子どもを伸ばす大人の接し方)>安全管理スタッフや実行委員を対象に、臨床心理士による子どもの現状と対応の仕方などを研修した。</p> <p><指導者養成(コーディネーショントレーニング)>コーディネーショントレーニングを指導しているまたは知識のある方を対象に、日本の第一人者である講師が講義および実技指導を行った。</p> <p><指導者スキルアップ>コーディネーショントレーニングを指導しているまたは知識のある方を対象に、理論の確認・運動種目の紹介および体験・ワークショップを行った。</p> <p><あだち放課後子ども教室サポーター養成講座(遊びのヒント 室内編 ～おりがみで遊ぼう～)>地域でボランティアをしたい方を対象とし、自身の脳トレと地域で活動できる機会として、子どもと遊べるおりがみの基本技術を身につける講座を実施する。</p> <p><あだち放課後子ども教室サポーターフォロー講習>養成講座の経験者を対象に、おりがみの応用技術を身につける講座を実施した。</p> <p><あだち放課後子ども教室サポーター養成講座(読み語りのためのボイストレーニング)>地域でボランティアをしたい方を対象とし、学校図書室や地域図書館などで活動できる機会として、読み語りの基本技術を身につける講座を実施した。</p>
------	--

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室スタッフ研修 「遊びのヒント室内編・おりがみ」【6/23,6/30】	46 人	2 回	生涯学習センター
あだち放課後子ども教室スタッフ研修 「遊びのヒント室内編・おりがみ」【9/8,9/15】	40 人	2 回	生涯学習センター
あだち放課後子ども教室スタッフ研修 「子どもを伸ばす大人の接し方」 【10/4,10/25,11/6,11/8,1/28】	135 人	5 回	竹の塚地域学習センター、 東和地域学習センター、 生涯学習センター、 舎人地域学習センター、 教育相談センター
全体講習会「生き抜く力を育む、放課後子ども教室」【10/8】	180 人	1 回	庁舎ホール
指導者養成(コーディネーショントレーニング)【9/18】	33 人	1 回	千寿本町小学校
指導者スキルアップ(コーディネーショントレーニング) 【4/21,5/27,6/24,7/22,9/16,10/21,11/18,12/9,1/27,3/3】	220 人	10 回	上沼田小学校
指導者スキルアップ(コーディネーショントレーニング) 【1/15,1/22,1/29,2/5,2/19,2/26,3/5】	577 人	7 回	東加平小学校
コーディネーショントレーニング初心者講習会 【2/5】	24 人	1 回	総合スポーツセンター
あだち放課後子ども教室サポーター養成講座 「おりがみ教室」【5/19,5/26,6/2,6/9,6/16】	117 人	5 回	生涯学習センター、千寿 第五小学校、伊興 小学校 (実習)
サポーター養成講座フォロー講習 「子どもと遊ぶおりがみ 秋・冬」 【9/29,10/6,10/13,10/20,10/27】	105 人	5 回	生涯学習センター
あだち放課後子ども教室サポーター養成講座 「読み語りのためのボイストレーニング」 【2/10,2/17,2/24,3/3】	90 人	4 回	生涯学習センター、 千寿双葉小学校 (実習)
小計	1,567 人	43 回	

②ホールサポータークラブ育成

目 的

文化芸術や文化施設に関心を持つ区民からボランティアを募り、地域からのホール文化事業のサポート活動や、実際に文化事業を共に運営し、区民の自己実現を図る。さらに地域ホールを支持する区民を増やし、文化芸術の潤いのある心豊かな区民生活の実現と、文化芸術の薫り高い活力ある地域社会の形成を推進する。

22年度の予定

内 容	実施時期	実施回数	実施場所
ホールサポーターによる下記活動 地域での文化事業宣伝活動 文化事業運営協力 文化事業企画提案 ホールサポーター会議、研修	通年		西新井文化ホール 他

22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容

実施概要

地域での文化事業宣伝活動(チラシ配布・ポスター掲出)のほか、公演当日の従事協力、事前の準備作業(チラシ折込)に積極的に協力をいただいた。また、サポーター相互のコミュニケーションも良好であり、公立文化施設の事業に貢献していただくことで、比較的高齢者が多いメンバーの生きがい作りの場ともなっている。年度末のサポーター会議では事業終了を惜しむ声が多く、次年度以降も連携、協力を依頼していく。

実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
公演運営協力	168 人	42 回	西新井文化ホール
準備作業協力(チラシ折込)	100 人	20 回	西新井文化ホール
ホールサポーター会議	23 人	2 回	西新井文化ホール
小計	291 人	64 回	

3 生涯学習の活動支援に関する事業
 (定款第4条第1項第3号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習・団体活動支援		予算現額	
		785 千円	
		執行額	
		605 千円	
①地域学習支援			
目的	公社の事業ノウハウとネットワークを活用した事業コーディネートを通じて、区民が地域課題や現代的課題について主体的に考え学びあう機会を創出する。学習事業の企画立案は、地域団体や各種機関との連携を基本に行い、区民参画による学習活動を推進していく。		
22年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	地域団体・各種機関との連携講座	通年	10 回
	地域学習コーディネート	通年	
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容			
実施概要	区民の学習機会の充実や学習活動の支援を行うため、各種団体や機関との連携による事業を実施した。足立区危機管理室と連携し、地域で子どもに関わる区民を対象とした地域学習講座を開催した。また、日本将棋連盟との連携により、放課後子ども教室において将棋教室を通年で開催した。将棋に親しみながら礼儀作法や集中力を身につける機会として期待できるため、23年度も引き続き実施する。区民公開講座は一般区民を対象に、発育発達に応じた身体面と心理面の変化や対処法の研修を実施した。他に、保育課の学習コーディネートを行い、保育士研修の講師調整(コーディネーショントレーニング)を支援した。		
	実 施 内 容	延参加者数	実施回数
	地域学習団体活動支援講座「将棋塾①」 【5/19,6/2,6/9,6/16,7/7,7/14,9/1,9/15,9/22,10/6,10/13,10/20,11/10,11/17,12/1,12/8,12/15,1/12,1/19,1/26,2/9,2/16,3/2,3/9】	362 人	24 回
	地域学習団体活動支援講座「将棋塾②」 【5/19,5/26,6/2,6/9,6/16,6/23,6/30,7/7,7/14,9/1,9/15,9/22,9/29,10/6,10/13,10/20,10/27,11/10,11/17,11/24,12/1,12/8,12/15,1/12,1/19,1/26,2/2,2/9,2/16,2/23,3/2,3/9】	335 人	32 回
	地域連携講座 「地域で子どもを守るには～子どもをねらう犯罪者の心理」① 【9/6】	104 人	1 回
	「地域で子どもを守るには～子どもをねらう犯罪者の心理」② 【11/20】	40 人	1 回
	区民公開講座「遊びの重要性と子どものからだと心の発達」 【12/10】	55 人	1 回
	区民公開講座「発育発達に応じた心の変化」【2/28】	80 人	1 回
	地域学習コーディネート【随時】		9 回
	小計	976 人	69 回
	実施場所		
		鹿浜第一小学校	
		桜花小学校	
		生涯学習センター	
		教育相談センター	
		生涯学習センター	
		教育相談センター	
		庁舎ホール	

②文化団体等支援			
目的	<p>区民との協働により文化芸術の薫り高いまちづくりを推進するため、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家及び団体とパートナーシップを持って、共に新しい区民文化を創造していく。 また、地域からの企画相談窓口を設置し、地域の芸術家を活用することにより文化振興に寄与する。</p>		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
足立吹奏楽団定期演奏会	5、2月	2回	西新井文化ホール
足立区民合唱団定期演奏会	8、1月	2回	
足立シティオーケストラ定期演奏会	9、3月	2回	
常笑気流歌劇団公演	8月	1回	
21世紀ADACHI芸術文化共同制作プロジェクト 歓喜の演Vol.10	通年		
イベントコーディネート	通年		区内各所
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容			
実施概要	<p>音楽三団体(足立シティオーケストラ、足立区民合唱団、足立吹奏楽団)の定期演奏会を共催し、運営面及び事業実施面での支援を行うとともに、エントランスコンサートやイベントコーディネートなどの事業に各団体の人材を活用している。地域の演奏家が活動の可能性を広げることにより地域の文化向上を図った。区民との協働事業である歓喜の演は、10回目を迎え、狂言、合唱、群読という異なったジャンルの文化活動をコラボレーションさせ、オリジナルの舞台「白秋の世界」を創作し発表した。チケットは2週間で完売した。公社は共催団体として参画し自主的な区民文化の年間を通じた活動場所の確保と事務局としての支援を行った。事業の効果、評価は高く、新しい区民文化創造の場となっている。イベントコーディネートでは、自治会、住区センター、区からの相談を受け様々なコーディネートをを行った。地域での文化振興に寄与する当事業は、行政、民間、区民の全てから期待されている。</p> <p>区内演奏家の実行委員会による足立区音楽祭を共催し、事業運営への助言、協力を行なった。ヤングアメリカンズアウトリーチでは、活動の場を提供するとともに参加者募集の広報活動に協力した。小学生から高校生までの参加者が3日間のワークショップを通じて、異文化との濃密な交流を体験した。</p>		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
足立吹奏楽団定期演奏会【5/30, 1/30】	1,713人	2回	西新井文化ホール
足立区民合唱団定期演奏会【8/22, 1/23】	1,510人	2回	西新井文化ホール
足立シティオーケストラ定期演奏会【9/12, 3/6】	1,566人	2回	西新井文化ホール
歓喜の演Vol.10を100倍楽しむための公開講座【9/4】	492人	1回	西新井文化ホール
歓喜の演10周年記念公演「白秋の世界」【1/16】	885人	1回	西新井文化ホール
足立区音楽祭【10/2】	640人	1回	西新井文化ホール
ヤングアメリカンズアウトリーチ【2/10～2/12】	840人	3回	西新井文化ホール
イベントコーディネート【随時】		7回	住区センター 他
小計	7,646人	19回	

4 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業
 (定款第4条第1項第4号事業) 【公益目的事業】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業		予算現額	
		7,987 千円	
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの図書室・視聴学習室の管理を受託し、図書、映像資料整備と公社職員が窓口業務を行なうとともに、図書室・視聴学習室を学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供することで区民の学習機会の拡大を図る。		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
図書室、視聴学習室の設備の維持管理	通年		東京足立学習センター
22年度(H22.4.1~H23.3.31)実施内容			執行額
			7,818 千円
実施概要	図書室・視聴学習室の管理を行い学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供し区民の学習機会の拡大を図った。また、放送大学視聴学習室を利用する区民のために、科学・文化等の一般教養に関する視聴覚資料の選定作業を行った。		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
図書室、視聴学習室の設備の維持管理	年間随時	年間随時	東京足立学習センター

5 足立区から受託する生涯学習に関する事業
 (定款第4条第1項第5号事業) 【公益目的事業】

(1) あだち放課後子ども教室支援		予算現額		
		196,537 千円		
目的	区が推進する「あだち放課後子ども教室」事業は、放課後の子どもの安全で安心な居場所を提供するものである。また、子ども同士の遊びや保護者を含む地域の交流・体験を通じて、心の豊かさや生きる力を育むことを目的としている。公社は、地域による事業運営を支援すると共に、更なる実施内容の拡充を目指すことで、放課後のより豊かな時間と空間を提供できる環境を整えていく。そのためには、公社がこれまで培ってきた事業ノウハウを十分に発揮し、各学校からの要望に応えられる体験活動の支援をはじめ、様々な体験学習等の機会を提供することで、「放課後子ども教室」事業の目的と公社が目指す、地域ネットワーク型生涯学習の推進の相乗効果を図っていく。			
22年度の予定				
	内 容	実施時期	実施回数	実施場所
	あだち放課後子ども教室の支援	通年		区内各小学校
	あだち放課後子ども教室の実施内容の拡充	通年		区内各小学校
	安全管理講習会の実施	通年		区内各小学校
	運営委員会支援	8、2月	2 回	生涯学習センター

22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容		執行額		
		133,644 千円		
実施概要	<p><新規開設・運営支援>新規開設5校に対し、事業説明や合意形成、学校との調整や物品の手配など、開設に関わる準備を行った。また開設後は、既設の67校とともに、謝金の支払い事務や会議資料の作成、現場への巡回など、円滑に運営するための支援を行っている。</p> <p><安全管理講習会>新人スタッフ研修及びフォロー研修の位置づけとしてAEDの基礎知識やケガの対応など、応急処置に特化した講習会を実施。同内容で開設前の必修講習会としても実施した。</p> <p><ブロック会議>小学校の13ブロック毎に会議を設置し、ブロック内で実施する各教室の実施状況や運営上の工夫、課題や解決策について、情報共有や意見交換、交流等を図った。</p> <p><運営委員会>ブロック会議での課題報告並びに各ブロック代表者による意見交換を行い、円滑な実施について協議した。合わせて区からの情報提供による情報の共有化を図った。</p>			
	実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
	新規開設		5 校	東栗原小学校、 宮城小学校、 新田学園、 長門小学校、 西新井小学校
	安全管理新任講習会(応急処置) 【4/9,4/14,4/21,5/17,6/21,6/23,7/22,8/25,9/13,9/15】	155 人	10 校	区内各小学校
	安全管理フォロー講習会(応急処置) 【5/17,5/26,6/15,6/16,6/17,6/18,6/23,6/24,6/25,6/29,7/1,7/2,7/3,7/8,7/12,7/13,7/14,7/15,7/16,7/20,7/21,7/26,7/27,8/25,8/26,8/27,8/31,9/1,9/7,9/9,9/15,9/17,9/22,9/28,9/29,10/14,10/15,10/25,10/27,11/8,11/10,11/16,11/17,11/18,11/26,12/3,12/6,12/17,1/17,1/22,1/26,2/17,3/11,3/23】	819 人	59 校	区内各小学校他
ブロック会議① 【5/20,7/6,7/7,7/9,7/13,7/14,7/15,7/16,7/21,7/22】	138 人	13 回	区内各小学校他	
ブロック会議② 【11/18,11/24,11/25,11/29,11/30,12/1,12/2,12/3,12/7,12/8,12/9】	222 人	13 回	区内各小学校	
運営委員会① 【8/23】	31 人	1 回	生涯学習センター	
運営委員会② 【2/1】	77 人	1 回	生涯学習センター	
小計	1,442 人			

(2) 総合受付管理		予算現額		
		98,340 千円		
目的	区では生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の各受付窓口をネットワークで結び、利用者の利便性を高めている。公社は、この予約システムのインフラ、PC等の機器の管理及び各受付窓口での利用情報の案内や学習室・体育館等の施設予約及び講座受付の運用サポートを受託する。			
22年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
屋内受付システム 機器の管理（消耗品含む） アプリケーション運用サポート		通年		
屋外受付システム チケット販売管理・運用				
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容				執行額
				90,842 千円
実施概要	区から受託している予約システムのインフラ、PC等の機器の管理及び学習室・体育館等の施設予約及び講座受付等の各システムの運用サポートを実施した。			
実 施 内 容		実施時期	実施回数	実施場所
屋内受付システム 機器の管理(消耗品含む) アプリケーション運用サポート		通年		
屋外受付システム チケット販売管理・運用				

(3) 生涯学習情報提供		予算現額		
		7,664 千円		
目的	生涯学習に関する区内の各種情報（講座・施設・指導者・グループ等）を各生涯学習施設から集約し、インターネット上で検索できる「生涯学習情報提供システム」と、生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の施設情報等を公開する「各施設ホームページ」の運用を受託する。「生涯学習情報提供システム」では、区民が求める情報及び区民の関心や理解を深める特集を企画・公開し、区民の生涯学習への取り組みを推進する。			
22年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新 (特集3回含む)		毎月2回	24 回	
各施設ホームページによる情報提供		毎月1回	12 回	
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容				執行額
				7,569 千円
実施概要	区から受託している生涯学習情報提供システム「まなボー☆」の更新を月2回実施している。また、7月には「夏のおすすめイベント22」と題し、親子・子ども向けの講座から、プール情報・図書館夏休み企画、児童館夏休みイベントを、2月には「あら川へいってみよう！」と題し、あら川を再発見してもらう企画、イベント情報など、幅広く情報提供を行った。			
実 施 内 容		実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新		毎月2回	24 回	
各施設ホームページによる情報提供		毎月1回	12 回	

(4) ジュニア吹奏楽団支援		予算現額	
		4,771 千円	
目的	足立区の音楽文化向上を図り、生涯にわたり音楽を愛好する情操豊かな児童を育成するジュニア吹奏楽団の支援事業を受託する。公社は、団体行動を通じ参加児童の健全育成をはかるとともに、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、地域への音楽普及活動、音楽文化の裾野の拡大に貢献する。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。 指導者謝礼補助 楽器等備品購入 楽譜等消耗品購入 通信運搬費補助	通年		島根小(練習) 西新井文化ホール (定期演奏会) その他区内での 派遣演奏会場
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容			執行額
			4,071 千円
実施概要	楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。下記のとおり足立区からの依頼のもと出演した「おいしい給食まつり」セレモニー等の派遣演奏をはじめ、神奈川県立逗子高校が主催するFriendship Festivalにゲスト出演するなど新しい活動機会を経験した。また、昨年度から実施した「児童期からの音楽普及」をテーマとする楽器演奏体験ワークショップ「ブラスキッズ」も併せて実施した。震災の影響により3月11以降の練習、定期演奏会及び6年生を送る会を中止した。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。 【随時】指導者謝礼補助、楽器等備品購入、 楽譜等消耗品購入、通信運搬費補助			
定例練習	3,619 人	77 回	島根小学校
楽団内活動			
・入団式【4/10】	47 人	1 回	島根小学校
・夏合宿【8/16～8/18】	47 人	1 回	日光林間学園
・楽器演奏体験ワークショップ「ブラスキッズ」【9～2月】	144 人	6 回	島根小学校
派遣演奏・イベント出演			
・神奈川県立逗子高校Friendship Festival2010【5/3】	1,800 人	1 回	よこすか芸術劇場
・足立区役所アトリウムコンサート【7/22】	250 人	1 回	庁舎ホール
・民生・児童委員全体研修会【8/24】	900 人	1 回	西新井文化ホール
・足立区民体育大会総合開会式、スポーツカーニバル【10/11】	3,672 人	1 回	総合スポーツセンター
・おいしい給食まつり【10/16】	3,400 人	1 回	島根小学校
・あだちブラスバンドフェスティバル【10/24】	2,355 人	1 回	西新井文化ホール
・アリオ西新井X'masコンサート【12/18】	800 人	1 回	アリオ西新井
・定期演奏会【3/20】	中止		
小計	17,034 人	92 回	

【 1～5 公益目的事業に対する人件費 】

公益目的事業に対する人件費		予算現額	
		294,340 千円	
目的	定款第4条第1項事業：公益目的事業を実施する職員の人件費		
22年度の予定			
内 容		実施時期	実施回数
公益目的事業に従事する職員人件費		通年	
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容			執行額
			257,937 千円
実施概要	公益目的事業を実施する職員の人件費の支出。		
実 施 内 容		実施時期	実施回数
公益目的事業に従事する職員人件費		随時	

6 足立区施設における自動販売機設置事業
(定款第4条第2項第3号事業) 【収益事業】

(1) 自動販売機		予算現額	
		4,466 千円	
目的	足立区施設を利用する区民の利便性を図るため、飲料等の自動販売機を設置する。施設使用については、足立区から必要な許可を受ける。自動販売機は業者が設置する。光熱水費を業者から実費相当分を徴収し、区に負担金として納付する。また、売上の一部を手数料として徴収し、公益目的事業費にあてる。		
22年度の予定			
内 容		実施時期	実施回数
自動販売機設置業務		通年	
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容			執行額
			4,306 千円
実施概要	足立区施設を利用する区民の利便性を図るため、飲料等の自動販売機の設置について施設使用を足立区から必要な許可を受けた(自動販売機は業者が設置)。業者から光熱水費の実費相当分を徴収し、区に負担金として納付。また、売上の一部を手数料として徴収し、公益目的事業費として使用する。		
実 施 内 容		実施時期	実施回数
自動販売機設置業務		随時	

7 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業
 (定款第4条第2項第1号事業) 【その他の事業1】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業		予算現額	
		4,988 千円	
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの総務的業務(公印の保管等の事務、職員の任用その他人事に関する事務、広報に関する事務など)を行っている。		
22年度の予定			
内 容		実施時期	実施回数
東京足立学習センターの事務局事務		通年	
広報に関する事務		通年	
面接授業に関する事務		通年	
単位認定試験の実施に関する事務		通年	
22年度(H22.4.1~H23.3.31)実施内容			執行額
			4,988 千円
実施概要	放送大学東京足立学習センターの第1学期4月入学、第2学期10月入学からのそれぞれ入学者を学部及び大学院の学生の受け入れを始め、面接事業及び単位認定認定試験実施のサポートを実施。区民の学習機会の拡大を図ってきた。また平成23年度第1学期学生「4月入学」の学生募集も行い区民の学習機会の拡充を図ってきた。		
実 施 内 容		実施時期	実施回数
東京足立学習センターの事務局事務		年間随時	年間随時
広報に関する事務		年間随時	年間随時
面接授業に関する事務		年間随時	年間随時
単位認定試験の実施に関する事務		年間随時	年間随時

8 足立区から受託する生涯学習施設の管理に関する事業
 (定款第4条第2項第2号事業) 【その他の事業2】

(1) 生涯学習施設の管理に関する事業		予算現額	
		130,834 千円	
目的	生涯学習施設において、クーラーや非常用照明の故障など、緊急に修繕の必要が生じた場合は、1件あたりの工事費が原則10万円以上から130万円未満の修繕を実施する。生涯学習施設における区民の安全と利用環境の保持を図ることを目的とするものである。当事業は区との年間契約によって実施しており、工事の発注に際しては、入札、見積もり合わせ等、区に準じた契約手続きにより修繕を行っている。		
22年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習施設の緊急修繕	通年		区内生涯学習施設
22年度(H22.4.1~H23.3.31)実施内容			執行額
			122,492 千円
実施概要	千住温水プールのエレベータ耐震装置改修工事1,209,600円他、足立区内生涯学習施設の設備・備品の修繕や建築物の補修工事の緊急工事を速やかに効率良く実施し、施設利用者の利便や安全の確保を図った。		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
小破修繕、備品修繕、予防保全による工事	随時	190回	各生涯学習施設

9 その他前号に定める事業に関連する事業
(定款第4条第2項第4号事業) 【法人会計】

(1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営			予算現額
			63,826 千円
目的	公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するため共通的庶務事務を実施する。また、自主事業を安定して継続するため、基本財産等の安全確実な資産運用を行う。		
22年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	通年		公社事務局
経理・契約システムの運営	通年		
基本財産等の管理及び運用	通年		
理事会及び評議員会の開催	5、11、2月		
22年度(H22.4.1～H23.3.31)実施内容			執行額
			51,980 千円
実施概要	<p><職員等の給与システムの運営>適切な職員給与支給の実施を行った。</p> <p><経理及び契約システムの運営>新会計基準に則った経理・契約システムにより、適切な執行管理を行った。</p> <p><基本財産の運用>満期償還された債券を財産管理運用規程及び要綱に則り預け替えを行った。</p> <p><理事会及び評議員会の開催>5、6月、平成21年度事業報告及び決算の決議のため開催。11月、平成22年度上半期の事業・収支状況報告のため開催。2月、平成23年度事業計画、収支予算の決議のため開催を行った。</p>		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
経理及び契約システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
基本財産等の管理及び運用	年間随時	年間随時	公社事務局
理事会及び評議員会の開催	5、6月 11月、2月	理事会6回 評議員会3回	公社事務局及び 生涯学習センター講堂

公社概要

公社名 公益財団法人足立区生涯学習振興公社
設立 平成 5 年 2 月 1 日 (平成 1 2 年 4 月 1 日名称変更)
公益認定 平成 2 1 年 1 0 月 1 日公益財団法人
基本財産 1 5 億円
代表者 理事長 鯨井 利昭
職員数 5 4 名 (定数)
常勤 3 4 名 (派遣 1 0 名、固有 2 4 名)
再任用 1 名 非常勤 1 9 名
住所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目 1 3 番 5 号 学びピア 2 1
ホームページアドレス <http://www.kousya.jp/tokimeki/>

組織図

(決議機関)

評議員会

(監査機関)

監事

(執行機関)

理事会 ——— 理事長 ——— 副理事長
(代表理事) (業務執行理事)

(事務局)

事務局長

総務部

企画総務課、経理課、施設管理課

学習事業部

放課後子ども教室支援課、放課後子ども教室推進課
放課後子ども教室推進担当課長
学習・スポーツ事業課、文化事業課、学習情報課